



いるかぐみだよ!

令和2年 11月16日 発行 川名 ひろみ

～朝の風 日が暮れる空 冬を感じる～

雨の日以外は夕方毎日園庭で遊んでいますが、10月の終わり頃から急に日が暮れるのが早くなり17時半には外が暗くなってきました。保育教諭が「ああ、もう暗くなっちゃったね。」と呟くと「私わかるよ!冬になってきているからでしょ。お母さんに聞いたよ」と言っていました。家族の会話の中で季節の変化を話すことも良いですね。



なごみチーム『ピンクの心』

ランチルームでの出来事です。その日きりん組が座っていたテーブルに、食べ終わる時間の目印にしている時計が足りず保育教諭が「12時までだから(時計を指差し)パイナップルまでね」と声をかけていました。それを見ていたいるか組のお友達が「はい、使う?」と自分たちのテーブルに置いてあった時計を譲ってくれました。年下の子を気遣う優しい心がとてもうれしかったです。ありがとう。



割り箸を使って稲のもみすり中



大きな山を作ってトンネル作りに挑戦!



いよいよ来月は最後の発表会です。今年は各学年で発表会をすることになりました。まずは劇遊び。子どもたちが好きなお話は何か、どのお話を演じてみたい?と話あった結果「ジャックと豆の木」と「さるかに合戦」の二つに絞られました。しかしそこからなかなか決まらず…ジャック派とさるかに派、真っ二つに分裂。アピールポイントを発表し合うなどお互い一步も譲らない攻防戦が数日続き…ようやく決まったのでした。

和太鼓・旗頭も頑張ります!



きらりチーム 『自分たちで作る発表会』

発表会の劇練習。皆で輪になり台詞だけを練習し始めて3日目。台詞を言うことに慣れてきた子ども達から出てきた言葉。「次に台詞を言う人は立ち上がったらどう?」「おにぎりを食べる時には食べる真似するのは?」と台詞を言うだけではなく、こうしてみよう、ああしてみようと子どもたちの方から声が出ました。今までは保育教諭からの声掛けで動いてきたのが、自分たちでやり方を考えようとする力、自分たちがこの劇遊びを作り上げるのだ、という意識が出てきたのだと感じられたエピソードでした。



自分達で衣装作り

